

## 令和3年度 第3回福井市行政改革推進委員会 会議結果

- 1 開催日時 令和4年2月15日(火) 14:00~:15:15
- 2 開催場所 市役所本館8階 第1委員会室
- 3 出席者
- (1) 委員 内山秀樹 委員長、田村洋子 副委員長、生駒俊英 委員、井上武史 委員、奥村清治 委員、佐々木俊一 委員、谷内由美子 委員、船井里江子 委員、見谷頼貞 委員  
(黒川委員は欠席)
- (2) 事務局 総合政策課
- 4 会議次第
- 1 開会
  - 2 開会あいさつ
  - 3 議事
    - (1) 「福井市行財政改革指針(令和4~8年度)」の策定について(報告)
    - (2) 「福井市行財政改革指針(平成29年度~令和3年度)」令和3年度取組結果(案)について
    - (3) 「令和3年度 外部点検結果」に基づく対応について(報告)
    - (4) その他
  - 4 閉会

### 5 議事の概要

事務局	(1) 「福井市行財政改革指針(令和4~8年度)」の策定について(報告)
委員長	【資料1-1、1-2、1-3に基づき説明】 行財政改革指針の中身については以前も説明があった。パブリック・コメントについては、1件あったが、内容を修正するには至らないものであったという報告である。 委員から何か質問やご意見があればお願いしたい。
委員	パブリック・コメントが1件というのは正直少ないと感じる。財政健全化の様々な取組なので、行政改革に関しても関心が高いと思っていたが、結果的に1件にとどまった。策定する側には特に問題もなくスムーズにいったと思うが、行政改革に対する市民の関心を高めることもこれから重要になってくると思う。そういったことも含めて今後お願いしたい。
委員長	課題が内在している場合もあるのでしっかりお願いしたい。
事務局	はい。

委員長	<p>他にお気づきの点はないか。</p> <p>意見がないようなので、議事(1)は了承したということでこれで終了する。</p> <p>次に議事(2)について説明をお願いします。</p> <p>(2)「福井市行財政改革指針(平成29年度～令和3年度)」令和3年度取組結果(案)について</p>
事務局	【資料2-1に基づき説明】
委員長	<p>令和3年度取組結果について報告があったが、31の取組計画の内、目標を達成したものが27で、4つが目標達成には至らなかったということ。そのような点を中心に意見をいただければと思う。また、達成した項目についてもご質問やご意見をお願いしたい。</p>
委員	<p>取組項目5番の女性の管理職比率についてだが、今の女性管理職の方々は市職員になられてから少なくとも20年以上などといったキャリアが必要かと思う。</p> <p>現在の職員採用で男女区別はないと思うが、以前は区別が存在したというところで、女性管理職になろうとする人の絶対数が少ないのか、または優秀な方がいても本人による辞退が多いのか。</p>
事務局	<p>今回の18.7%の根拠を先に申し上げますと、管理職は部長級、次長級、課長級、副課長級のポストがあり、ポスト数は278である。その内、ポストに就いている女性職員は52ということで、18.7%になる。</p> <p>全体の職員数の構成は、年度によって変わってくる。また、採用にあたっての男女の区別はなく、女性活躍ということで進めているところである。能力が大前提ではあるが、女性活躍促進を図っていきたい。</p>
委員長	男女比がわかれば教えて欲しい。
委員	優秀な方をお願いしようとしてもご本人の辞退が多いのか、最初から推薦する絶対数が少ないのか。
事務局	<p>女性の場合に、仕事のキャリアと家庭の両立で悩まれる方がおられるという話も、個人的には聞いたことがあるが、組織としては管理職を担っていただきたいところであり、そのような立場の人が多く思っているので、女性活躍を進めていきたいと思っている。</p>
委員長	環境づくりが大切である。
委員	福井市はまだ女性管理職が増えていく環境ができていないということで、辞退する人はいないか。
事務局	<p>管理職になったかは人事が発令されたときに初めてわかるもので、そもそも辞退がない。</p> <p>事前に希望調査はあるが、課長補佐級を2、3年程経験すると対象年齢となるので、組織</p>

	<p>としても是非ということになり、本人もそれに対応している。</p>
委員	<p>内示が出てから本人に通達されると思うが、その時点で例えば翌週に退職願が出るといったことはないのか。</p>
事務局	<p>聞いたことはない。</p>
委員長	<p>希望調査の段階でのやり取りが重要になってくるのだろう。</p>
委員	<p>福井市の数値について、県内自治体との比較はどうか。</p>
事務局	<p>大変恐縮ですが、手元に資料がない。</p>
委員	<p>では、福井県と比べるとどうか。</p>
事務局	<p>きちんとした数値を後ほど回答させていただきたい。          特定事業主行動計画を各自治体で定めることとなっており、福井市は令和6年度で25%以上を目標に掲げている。令和元年度は17.8%だったが、今年度は18.7%であり目標に向けての途上にある。今年度の目標値 20.6%は、令和6年度の目標から割り戻した数値となっている。</p>
委員長	<p>昨年度が18.2%で、今年が18.7%である。0.5ポイントの伸びに止まったというのは、かなり難しいテーマなのかもしれない。ただ数字を追いかけるだけではなく、希望調査の段階や研修の段階から働きかけをしないと数字が上がっていかないと思うので、そのあたりもお願いしたい。</p>
事務局	<p>計画に掲げられているものなので、達成すべくしっかりと行っていく。</p>
委員	<p>福井市が不妊治療の環境整備を進めたというところで申し上げると、男性が上司だと不妊治療を始めたいというのを女性が言い難い状況もあろうかと思う。また、週に何度も病院に行かなければならず、仕事との両立も難しいと思われる。そのあたりを十分に対応して行って欲しい。</p>
事務局	<p>そのようにしっかりと頑張らせていただきたいと思います。</p>
委員長	<p>他の項目でもご質問やご意見があれば伺いたい。</p>
委員	<p>取組項目6番について、亡くなられた方のご遺族に対するサポートとあるが、福井市の聖苑は民間委託である。ご遺族の申請書類等のサポートというのは、委託先の民間事業所の職員が対応するのか、市職員がサポートするのか。</p>
事務局	<p>市役所の窓口で市役所の職員が対応させていただいている。</p>

	<p>お亡くなりになると、色々な手続きがあるため、わかりやすく丁寧にできるようにとの趣旨で本年度から始めたものである。</p> <p>利用実績については、4月から12月までに亡くなられた方が 2,093 名おられ、その内サポートコーナーで受け付けた件数は800件である。率にして38.2%の方がご相談をいただいている。予約制で行っており、長い方は2時間近く、短い方は数分程で終わる場合もある。丁寧に対応させていただいており、平均受付時間は30分程度である。</p>
委員	これはよい取組である。
委員長	他のテーマでこういうニーズは上がっていないのか。
事務局	全国的な動きとしては、以前ネウボラという、子ども関係の窓口を1本にできないかという動きがあった。今、子ども庁をつくらうという動きがある中で、そのあたりの話もあるが、子育ては教育と福祉という大きな部分に跨る話となり、それぞれ専門的なものが必要になってくるため、ひとつの窓口ですべてをこなすのはなかなか厳しいのではないかと考えている。以前、そういった話は全国的な流れとしてあったのは間違いない。
委員長	亡くなられた方などは、短時間で対応ができて成果も出やすく、相談者も納得できるものだが、子育てはいろいろな問題を抱えながら長期に亘るので問題解決も難しい部分があるかと思う。福祉関係はワンストップ的な対応を従来から行っているのではないかと思う。
事務局	<p>行っている。</p> <p>先ほどの回答を1件させていただく。職員の男女比率について、フルタイム再任用職員を除いた令和3年4月1日現在の職員数は2,239人。内、男性は1,375人で61%、女性は864人で39%である。女性には保育士も含んでおり、保育士は女性が多い。全体で見ると男性6割、女性4割である。</p>
委員長	<p>委員の方、他にご意見があれば。</p> <p>期待以上の成果があがったというものはないか。</p>
事務局	昨年度は土地の売却で10数億円収入があった事例があり、大きな成果があったと評価したものがあつた。今の段階では見込みということもあるが、そこまでは厳しいのではないかと感じている。
委員長	ふるさと納税が気になっている。返礼品の魅力だけで、ふるさと納税が多い少ないと喜んでよいのかという思いがある。ふるさと福井のことを思い、ふるさとのために納税する人が増えるのがふるさと納税の本来の趣旨かと思う。コロナ禍によるカニの価格高騰など、本来の狙い以外の部分での変動が大きいというのは、根本的なPRが不足しているからではないかという気もするが、そのあたりはどうか。
事務局	ふるさと納税の本来の趣旨は、委員長がおっしゃる通り、福井のファンを一人でも多く増やしていき、そういった方が少しでも福井のために役立てて欲しいということで、本市に寄附を

	<p>行っていただくというのが趣旨である。目標についても寄附者数と寄附額の2つを掲げている。本来の趣旨からいうと寄附者数を増やしたく、その寄附者数は今回目標を達成している。今年度から楽天ふるさと納税も活用しながらPRも広めてきたが、昨年同様、高い金額での納税が減っている。以前なら手が届いたカニに手が届かない状況もあり、カニの時期に集中する寄附が成果に結びつかない状況にあったようである。本市の魅力PRと合わせて、福井のことをどんどん好きになっていただき、そういった方を増やして行くことは重要であると考えている。今後ともしっかり取り組んでいきたいと考えている。</p>
委員長	<p>ある特定の地区への寄附、例えば東郷地区で結構な寄附が集まっていると聞いている。朝倉氏遺跡なども取り組まれているので、そういったところをもっとクローズアップしてPRして欲しい。</p> <p>他にも委員からご意見があればお願いしたい。</p>
委員	<p>ふるさと納税の件数は目標を達成している一方で、金額が3億程不足している。その分の収入が減っていることで、何か市民サービスに支障が出る形になっているのか伺いたい。</p>
事務局	<p>ふるさと納税の収入が見込みより減るということで何か支障になっているかというご質問であるが、ふるさと納税による歳入影響額は寄附金額だけでなく、交付税措置額や市民税減収額なども考慮し、最終的に差し引きどれだけ影響があるかをみるため、単年度で収入を当て込んで事業を整理しているものではない。福井市の場合、過去2年程は1億円ちょっとのプラスとなっている。これによって市民生活に直接厳しい影響があるとは捉えていない。</p>
委員	<p>ふるさと納税によって他自治体へ財源が流出する側の自治体では、危機感を持って様々な広報を行っている。受け入れ側の自治体では、ふるさと納税のおかげでこういうことができているということを市民に実感してもらえそうな情報発信を行っていった方が、ふるさと納税に対する市民の理解も深まるのではないかと考えるがどうか。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおりである。非常に重要なことだと思っている。今後も引き続き、様々な媒体を通じて市民に伝わるようなやり方でしっかりお伝えしていきたい。</p>
委員	<p>ふるさと納税で工夫している取組はあるか。例えば熊本では熊本城主になれるといった取組がなされているが、本市ではどうか。</p>
事務局	<p>地域の活動で活用できるように、「地区指定ふるさと納税」をいち早く取り入れて行っているのはアピールできる点である。それ以上尖った取組はなかなか難しい状況であると思っているが、人の心を動かすような取組を行っていかねばならないと思っているため、建設的なご意見がありましたらご教授いただけるとありがたい。</p>
委員	<p>新幹線が来て市の施設や朝倉氏遺跡など注目されるようになる場所について、市長からの手形がもらえるなど、お金を掛けずに市民に愛着をもってもらえるような返礼に取り組んでもらえると、ふるさと納税の価値がより上がってくるのではないかと思う。</p>

事務局	検討させていただく。
委員長	他にご意見があればお願いしたい。リモート参加の委員からもご意見があればお願いしたい。
委員	<p>目標を達成できなかった取組項目が気になる。取組項目21番の広告媒体の研究・導入についてだが、コロナの影響もあり体育施設を活用した広告事業が厳しかったのは仕方がないと思う。</p> <p>市政広報への広告掲載については、以前と比べ良くなったとは思いますが、載せる際にもう少し工夫し、広告主に満足してもらえるような努力を続けて欲しいが、これは広報課が行っている事業か。</p>
事務局	広報課が行っている。
委員	取組項目16番について、福井市応援隊の活動というのはどのようなことを行っているのか、またどのような支援があるかを教えて欲しい。
事務局	<p>福井市応援隊は、平成29年から募集を開始し、福井市出身でなくとも福井のことに興味を持っていただいて、福井のために活動していただける方々の集まりとして登録をさせていただいている。首都圏を中心として、福井市の東京事務所で登録を行っている。</p> <p>具体的な活動は、それぞれの活動分野で福井のことをPRしていただくというのが基本としてある。イベントへの参加依頼や福井の情報を東京事務所から発信し、それを広めていただくということを行っている。ここ数年はコロナ禍もあり厳しい条件もあるようだが、順調に登録者数を増やしている。アフターコロナに向けては、しっかりと福井をPRしていただけるようお願いしていくことになると思っている。</p>
委員長	<p>他にご意見はないか。</p> <p>無いようなので次の議事に移りたいと思う。議事(3)について説明をお願いします。</p>
	(3)「令和3年度 外部点検結果」に基づく対応について(報告)
事務局	【資料3-1に基づき説明】
委員長	去年の7月に、委員の皆様にご覧いただき、ご意見や気になったことがあればお願いしたい。
委員	4番の公民館運営事業の件について、若者の地域離れ、公民館離れを防ぐため、今現在の公民館の利用時間である21時から23時までに2時間延長できないかという声があったかと思うがそれについてはどうなったか。
事務局	そのあたりのストレートな回答に至るまではもらえていないが、アンケート等を通して整理し

	ていきたいという回答である。
委員	今の若い人たちの生活スタイルを見ていると、今の福井市公民館の21時門限というのは非常に使いづらいと思う。仕事の通勤範囲も以前と比べて広がっているため、帰宅時間が遅れている。できれば23時まで公民館を利用できるように仕組みを変えてはどうか。県内にはないと思うが、そうした公共施設の利用例について全国の状況を研究して欲しい。
事務局	担当課にはそのようにしっかりとお伝えしておく。
委員長	他にもお気づきの点があればお願いしたい。 なかなか、一足飛びに改善というのはないと思うが、それぞれの部署で点検結果をしっかりと受け止めていただいて、課題としては長期に亘り取組が必要かもしれないし、根本的な見直しが必要なご意見もあろうかと思う。またよろしくお願ひしたいと思う。 では他にご意見がないようなので、議事(3)「令和3年度 外部点検結果」に基づく対応についてはこれで終わりたいと思う。 次に、議事(4)その他ということで、事務局から何かあればお願いしたい。
事務局	事務局からは特にございません。
委員長	委員の方から何かあれば。
委員	コロナ禍で大変だったにもかかわらず、これだけ回答をいただけたというのは、行政改革推進委員会の意見を真摯に受け止めて、考えてくださったと伝わってきた。御礼申し上げるとともに今後もまた期待していきたいと思っている。
委員長	令和3年度は第七次福井市総合計画や現在の行財政改革指針の計画期間が終了する節目となる。次年度以降についての外部点検等はどうなるのか。
事務局	それについては、第2回の行政改革推進委員会でご説明させていただいたように、外部点検は今年度をもって収束とさせていただきたい。しかし、行政改革推進委員会の場で事務局にご意見をおっしゃっていただければ、担当課に回答を求め改善の要請も行っていくということで対応させていただきたい。行政改革推進委員会自体は続いていくので、この場を利用してご意見をお願いしたい。
委員長	外部点検という形での事業のチェックは一定の役割を果たしたということだと思う。
委員	行革は続けていかなければいけないことである。本日の新聞報道等を見ると、福井にとっては百年に一度の転換期を迎えようとしており、今までの様な考え方ではなく、これからどうしていくのかということのみなさんで議論していただきたいと思う。 福井市にたくさん来ていただくために、桜マラソンなどいろいろなことをやろうとしているが、それによって福井市民の負担が重くなってしまっは本末転倒である。そのあたりも工夫しながらやって欲しいと思っている。

委員長	<p>福井は眼鏡産業の発祥地であり、「おしよりん」という小説の映画化を目指して7月から行っていくが、これは民間から話が出て、民間の働きかけで行政に協力を求めた形である。</p> <p>行政の方からも、今までの延長ではなくこれからどうするかという提案を出していただきたいと思う。それに対して、我々委員が助言等を行う必要があるかと思う。そのような行政改革を次年度からも続けていただきたい。</p> <p>いろんな議論が飛び交う組織にしていきたいというご意見かと思う。</p> <p>では、これで本日の議事を終了させていただきたいと思う。</p> <p>今日はどうもありがとうございました。</p>
-----	--

(15:15 終了)